# JFA第42回全日本U-12サッカー選手権大会 埼玉県大会実施要項

- 1 目 的 日本の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・ 理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養 い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指す。
- 2 主 催 公益財団法人日本サッカー協会/公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団/ 読売新聞社/公益財団法人埼玉県サッカー協会
- 3 主 管 公益財団法人埼玉県サッカー協会第4種委員会
- 4 後 援 日本テレビ放送網/報知新聞社
- 5 特別協賛 YKK/花王
- 6 協 賛 日本マクドナルド/日清製粉グループ/日清オイリオグループ/ゼビオ
- 7 開催協力 モルテン
- 8 期日会場 2018年10月21日(日) 1・2回戦 県内各地

10月28日(日) 3・4回戦 県内各地

11月 3日(祝) 予備日

11月 4日(日) 予備日

11月11日(日) 5回戦・準々決勝 埼玉スタジアム第2グラウンド

11月18日(日) 準決勝・決勝 埼玉スタジアム第2グラウンド

- 9 参加資格 (1) 2018年度日本サッカー協会第4種に加盟登録したチーム(以下「加盟チーム」)で、 今年度埼玉県第4種リーグ戦に参加していること
  - (2)前(1)のチームに所属する選手であり、日本サッカー協会発行の選手証を有する者で、かつ、スポーツ安全傷害保険に加入済であること
  - (3) 埼玉県大会のエントリー表提出(期限:9月30日)までに登録が承認され選手登録 番号が付与されている選手であること なお、期限日までに参加チームが確定しない場合は、確定後速やかにエントリー表提出 のこと
  - (4) エントリー表提出後の選手の変更は認めない。
- 10 参加チーム (1) 平成30年度埼玉県第4種リーグ戦各地区ブロック1位~3位までの159チームと する。
  - (2) 同一加盟チームで今大会2チーム出場の場合は、次の条件を遵守のこと ①エントリー表に記載した選手は、大会終了までチーム間の入れ替えがないこと ②エントリー表に記載する監督・役員(指導者)は重複しないこと
  - (3)選手登録は20人以内とする。
- 11 大会形式 (1)トーナメント方式とする。
  - (2) 3位決定戦は行わない。
  - (3) 第4種リーグ戦各地区ブロック1位チームは、シードチームとする。
- 12 競技規則 実施年度の日本サッカー協会競技規則および8人制サッカー競技規則による。

- 13 大会規定 以下の項目については、本大会の規定を定める。
  - (1) 競技のフィールド

競技のフィールドは $6.8 \, \text{m} \times 5.0 \, \text{m}$ を基準、ゴールは $5 \, \text{m} \times 2$ .  $1.5 \, \text{m}$ とする。 その他のサイズについては、 $8 \, \text{人制サッカー競技規則による}$ 。

(2) 試合球

試合の使用球はモルテン社製の4号公認ボールとする。

- (3) 競技者の数
  - ①1チーム8人の競技者によって行い、競技者のうち1人はゴールキーパーとする。 (試合開始時、8人に満たない場合は試合を行わず、不戦敗とする。) 試合中、8人未満になり選手の補充ができない場合は、そのまま続行する。
  - ②退場者が出た場合は、交代要員の中から競技者を補充することができる。
  - ③交代要員の数は、8人以内とする。
- (4) ベンチ入りするチーム役員の数 ベンチ入りできるチームの役員は、監督・役員(指導者)2人以上5人以下とする。
- (5) 競技者の用具・ユニフォーム
  - ・日本サッカー協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。 また、正副のユニフォームを、エントリー表に記載し、試合ごとに必ず携行のこと
  - ・ポイント取替式のスパイクの使用は認めない。

### (6) 試合時間

- ① 試合時間は40分(前後半各20分)とする。 ハーフタイムのインターバルは原則5分間とする。
- ② 規定の競技時間内に勝敗が決しない場合は、10分(前後半各5分)の延長戦を行い、 なお決しない場合は、ペナルティーマークからのキックにより勝者となるチームを決 定する。

延長戦に入る前のインターバルは5分、ペナルティーマークからのキックに入る前の インターバルは1分とする。

③ ペナルティーマークからのキックにより勝者となるチームを決定する場合は、 出場中の競技者3人により行う。

## (7) 選手交代

各試合のメンバー(16人以内)の範囲内で自由な交代とし、交代ゾーンを使用する。

- ① 交代は、主審の承認を得ることなく、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中に 関わらず行うことができる。
- ② ゴールキーパーの交代は、ボールがアウトオブプレーのときに、主審に通知し、主審 の承認を得て行う。
- ③ 交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

- (8) キックオフから直接得点することはできない。キックオフからのボールが直接相手ゴール に入った場合は相手チームのゴールキックで再開する。
- 14 選手証 各チームの登録選手は、日本サッカー協会の選手証を持参しなければならない。ただし、写真 貼付により、顔の認識が出来るものであること
  - ※原則として、「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したものとする。

(スマートフォン等での提出は認めない。)

- 15 代表権 第1位のチームをJFA第42回全日本U-12サッカー選手権大会決勝大会(以下「決勝 大会」という)に、埼玉県代表として推薦する。
  - (1) 参加選手は本大会で当該チームに登録した選手であること
  - (2) 当該チームの本大会での登録選手数が16人未満の場合は、加盟チーム内の選手から補充することができる。
- 16 表 彰 第1位=賞状・トロフィー・協賛社副賞 第2位=賞状・トロフィー 第3位(2チーム)=賞状・特別協賛社賞
- 17 参加費 5千円/参加チーム
- 18 表彰式 (1) 11月18日(日) 14:00
  - (2) 準決勝出場チームが参加すること
- 19 その他 (1) エントリー表の提出期限 9月30日(日)
  - (2) 代表者会議及び組み合わせ抽選会

10月13日(土) 18:30 さいたま市民会館おおみや 小ホール さいたま市大宮区下町3-47-8 Tht.048-641-6131

## 持参する物

- ①実施要項(第4種少年サッカー連盟ホームページから印刷)
- ②確認事項 (第4種少年サッカー連盟ホームページから印刷)
- ③参加費

- 1 メンバー表の提出、選手証及びユニフォームの確認について
- (1) 試合開始時刻50分前までにメンバー表を本部に提出するとともに、各日第1試合目についてはメンバー表に記載した全選手の選手証または登録選手一覧を呈示しメンバー表との照合・確認を受ける。
- (2) メンバー表は、次の要領で試合ごとの1部提出する。
  - ・代表者会議時配布された第4種委員会印を押印した受理済のエントリー表を原本とし、コピーして使用する。
  - ・8人の先発要員の先発欄に〇印を記入し、さらに、当該試合にベンチ入りしない監督・役員(指導者)及び選手を二重線で抹消して提出する。
  - ・ユニフォームチェック終了後、確定したユニフォームの色に〇印を付けて再度提出する。
- (3) 試合開始40分前に、正副2組のユニフォームを持参して審判員によるチェックを受ける。 (対戦相手と類似色の場合は、話し合い又は主審のトスにより決定する。)
- (4) 交代要員を含む全選手と選手証(含む登録選手一覧)・メンバー表との照合及び用具等の確認を試合開始10分前から受ける。
- 2 ベンチについて
- (1) ベンチに入れる者は、試合ごとの選手16人以内と、登録された監督・役員(指導者)2人以上5人以下とする。
- (2) チームベンチは競技のフィールドに向かって左側をトーナメント表の若い番号のチームとし、対戦相手が右側とする。
- (3) 退席を命じられた監督・役員(指導者)は、次の1試合はベンチに入ることはできない。
- (4) ベンチでの携帯電話・カメラ・ビデオ等の使用は禁止する。
- 3 警告・退場について
- (1) 本大会から決勝大会まで懲罰規定上の同一競技会とみなし、本大会終了時点での未消化の出場停止処分は決勝大会に持ち越し適用される。
- (2) 退場を命じられた選手は次の1試合は出場できない。警告を累積2回受けた選手も同様とする。
- (3) 本大会の終了時点で累積の警告は消滅し、次の大会には持ち越さない。
- 4 競技場内での飲水について
- (1) 試合中必要に応じて飲水タイム設ける。
- (2) 水以外の "スポーツドリンク" 等の持ち込み及び摂取については別に示す。
- 5 審判について
- (1) 1回戦から4回戦までの副審はチーム帯同とし、他は第4種少年サッカー連盟及びクラブ連盟U-12審判委員会からの派遣審判員が行う。(細部:「第1・2日目組み合わせ・副審担当表」参照)
- (2) チームは適任の審判員を選任すること
- (3) チーム帯同審判員は、諸準備を整えて担当試合開始予定時間45分前に本部に集合し担当主審による審判証の 確認を受け、所要の打ち合わせ等を行う。
- 6 天候その他の事由による中断・中止等の場合の処置
- (1) 試合途中で中断した場合、再開後の試合時間は規定の試合時間の残り時間とする。 再開できないときは、その時点の得点をもって試合終了とし、同点又は両チーム共に無得点の場合は主審のトス により勝者となるチームを決定する。
- (2) 試合が開始できない場合は、大会本部が行う抽選により勝者となるチームを決定する。

### 7 その他

- (1) チームの代表者は、自チームの試合開始時刻1時間前までに受付を済ませること
- (2) 試合中のグラウンド外でのアップは指定された場所で行うこと ハーフタイム中のグラウンド内での練習は不可とし、試合前のグラウンド内での練習は指示に従うこと
- (3) もみの木広場・ちびっこ広場へのスパイクでの立ち入り及び同広場でのボールを使った練習ならびに会場内全域での火気の使用は禁止されているので、特に注意すること(埼玉スタジアムの場合)
- (4) チームの責任者は、帰る時も必ず本部に報告し「チーム役員証」を返納すること
- (5) 指定された場所以外での喫煙は禁止する。
- (6) 弁当容器・ペットボトル・空き缶等のゴミは、すべてチームの責任で持ち帰ること
- 8 実施要項・確認事項の各条項が守られない場合及び大会運営に対し不適切な行為等があった場合、ならびに前2(1)に反した場合、前2(3)・3(2)については、本大会のフェアプレー・規律委員会において審議する。
  - (JFA懲罰規程による。)

10月21日

10月28日

11月11日

11月18日

11月11日

10月28日

10月21日